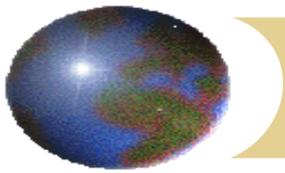


Q:最近、大雨、台風、地震などの自然災害が増えているように思います。
なぜ、全知全能である神は、このような悲劇が起こることを許しておられるのでしょうか。

最近の大雨・台風による大規模な災害				人的被害		住宅被害	
				亡くなられた方等	行方不明の方	家屋全半壊等	家屋浸水
2020年	令和2年7月豪雨	7/3~	熊本県を中心に、九州や中部地方など各地で発生した集中豪雨	78名	7名	920戸	14,435戸
2019年	令和元年房総半島台風(台風15号)	9/9上陸	◎関東地方で猛烈な風が吹き、観測史上1位の最大風速や最大瞬間風速を観測 ◎この暴風により、7都県で約934,900戸の停電が発生。特に千葉県の被害甚大	1名		69,797戸	245戸
	令和元年東日本台風	台風19号	10/12上陸	関東甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらした	104名	3名	70,652戸
令和元年10月25日の大雨		10/24~26	千葉県を中心に被害をもたらした豪雨災害 平年の10月の1か月分に当たる雨がわずか半日で降った				
2018年	平成30年7月豪雨(西日本豪雨)	6/28~7/8	西日本を中心に、広い範囲で記録された台風7号及び梅雨前線等の影響による集中豪雨	223名	8名	20,663戸	29,766戸



A: 日本に限らず、世界各地でも、洪水、干ばつ、熱波、そして、ウィルスによる感染症が多発しています。自然災害の多くは、地球温暖化が引き起こした異常気象の影響によるものと見られています。

1. 神は天地と自然法則の創造者であることを覚えましょう。

私たち人間は、通常は、自然の恵みを享受しながら、快適な生活を送っています。

太陽や月や星は、自然法則に従って秩序正しく動いています。

地球もまたしかり。季節の移り変わりは、毎年、規則正しく巡って来ます。

宇宙の運行を支えておられるのは、神です。

このことのゆえに、まず神に感謝したいと思います。

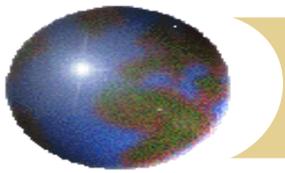
そして、自然災害のほとんどが、自然法則に従って起こっているということを認める必要があります。

2. 被造世界は、人類の罪の結果、異常な状態に陥っていることを覚えましょう。

これが、聖書が示す世界観です。

ローマ人への手紙8章22節は、こう教えています。 **私たちは知っています。被造物のすべては、今に至るまで、ともにうめき、ともに産みの苦しみをしています。**

つまり、アダム の 墮落は、人類に死をもたらしただけでなく、自然界に呪いももたらしたということです。自然界は、人類が救いの完成を求めているのと同じように、 **ともにうめき、ともに産みの苦しみをしている** のです。



呪われた被造世界は、自然災害が起こりやすい状態になりました。
大雨や台風は、様々な気象条件が重なって起こる現象で、地震は、地球のプレートが移動して起こる災害です。

3.災害の中でも神の恵みは働いていることを覚えましょう。

神は、罪人が悪を行うことを忍耐しながら許容しておられます。それと同じように、神は、自然災害が起こることも許容しておられます。**個々の災害に関して、なぜ神がこの悲劇を止めないのか、私たちには分かりません。それは神秘です。**

ただひとつ言えることは、災害の中にも神の恵みを見出すことができるということです。

例えば、

- ◎大惨事の中でも、奇跡的に助かった人たちの話を聞くことがあります。
 - ◎自然災害をきっかけに、自らの人生を再吟味したという方々が多くおられます。
 - ◎被災者を援助するために愛の実践を実行する人たちが現れるということもあります。
- 神は良い方です。神は、悲劇を善に変えることのできるお方です。

呪われた被造世界は、やがて完全な姿に変えられます。

出典:《3分でわかる！聖書Q.193「どうして神は、自然災害を止めないのですか。」》